

第80回 国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会新潟県予選会
第104回 全日本スキー選手権大会新潟県予選会
令和7年度 新潟県スキー選手権大会
大会実施要項

1. 主 催 (公財)新潟県スキー連盟
2. 共 催 妙高市・南魚沼市・津南町
3. 後 援 新潟県・(公財)新潟県スポーツ協会・妙高市教育委員会・南魚沼市教育委員会・津南町教育委員会
4. 支 援 陸上自衛隊第二普通科連隊
5. 主 管 (公財)新潟県スキー連盟上越協議会・(公財)新潟県スキー連盟中越協議会
NPO法人妙高高原スキー連盟・六日町スキークラブ・津南町スキークラブ
6. 会 期 令和7年10月19日(日)・ 令和8年1月10日(土)～21日(水)
7. 会場及び日程アルペン SL:マウンテンパーク津南スキー場 GS:妙高市赤倉観光リゾートスキー場
クロスカントリー、コンパインドクロスカントリー 南魚沼市欠之上クロスカントリーコース
ジャンプ 妙高市赤倉シャンツェ

ノルディック種目				アルペン種目			
期 日	内 容	時間	会 場	期 日	内 容	時間	会 場
10月19日(日)	〔ジャンプ〕 TCM 公式練習 スペシャルジャンプ コンバインドジャンプ	9:00 12:30 13:00 14:00	妙高高原 赤倉シャンツェ	1月10日(土)	スラロームTCM	16:00 (予定)※	津南町総合センター (予定)※
				1月11日(日)	スラローム(兼SAJ-B級) 表彰式(ゴールエリア)	10:00	マウンテンパーク津南ス キー場(第3ヶレンデ'A コース)
1月20日(火)	〔コンバインドクロスカントリー〕 TCM 少年・成年A 10K 成年B・女子 5K 表彰式	11:00 13:00～ 14:30 (予定)※	南魚沼市 欠之上クロス カントリーコース	1月15日(木)	TCM	16:00	池の平スポーツ広場
				1月16日(金)	ジャイアントスラローム 表彰式(ゴールエリア)	10:00	赤倉観光リゾート スキー場
1月19日(月)	〔クロスカントリー〕 TC M 開会式(選手会)	15:00 16:00	南魚沼市小栗山 ホテル木の芽坂	<注意事項1:ふるさと選手制度> 成年種別に参加する選手で『ふるさと選手制度』を利用する者は、新潟県スポーツ協会のホームページ(URL http://niigatasports.or.jp)にあるコンテンツ「国民スポーツ大会」から関係する様式をダウンロードし必要事項をご記入のうえ、大会事務局に提出してください。 【提出期限:2025年9月26日(金)～2026年1月4日(水)】 尚、初めて登録される方と登録更新される方とは様式が異なりますのでご注意ください。 様式1ーA ふるさと登録届 様式1ーB ふるさと選手制度使用申請届:連続して利用しようとする選手用(毎年度提出すること) <注意事項2:アルペン種目のみ> ①スーパージャイアントスラロームは甲信越ブロックで開催するため、大会開催要項はSAJ及びNSAホームページ上で案内します。 ※アルペンSL、コンバインドクロスのTCMの時間・会場等は12月にHPで確認すること。			
1月20日(火)	〔クロスカントリー〕クラシカル 男子10K・5K 女子 5K	10:00 11:00	南魚沼市 欠之上クロス カントリーコース				
1月21日(水)	〔クロスカントリー〕フリー 男子50K(30K・15K) 女子30K(10K)	9:30 9:40					
1月21日(水)	国スポ選手選考会 (全競技)	14:00					

8. 競技種目及び種別 (個人種目)

種 目 テクニッ ク			5K	10K		15K		30K	50K	リレー	ノルディック コンパインド ※	ジャンプ	ジャイアント スラローム	スラローム
			クラシカル	クラシカル	フリー	クラシカル	フリー	フリー	フリー					
組 別														
男子	成年	A	/	○	/	/	○	○	○	○ CC FF	10K○	○	○	○ 注) 1
		B		○							5K○	○	○	
		C		○							○	/	/	
	少年		/	○							10K○	○	○	
女子	成年	A	○	/	○	/	/	○	○ CFF	5K○ 注)2	○ 注)2	○	○ 注) 1	
		B	○									○		
	少年		○									○		

※ノルディック・コンパインドの少年男子・成年男子Aは10Kとし、成年男子B・女子は5Kとする。
注)1 アルペン種目のスラロームは、全日本スキー連盟B級公認ポイントレースとして開催する為、参加する選手は、別紙B級大会要項を参照別途申し込みが必要です。
注)2 ノルディック種目コンパインド及びジャンプの女子は、新潟県スキー選手権大会として開催する。

9. 参加資格及び制限

- 公益財団法人日本スポーツ協会、国民スポーツ大会・諸規定に準ずる。
- (1)競技者は新潟県スキー連盟の団体所属員で、会員登録を完了した競技者、並びに本県居住者であって別に定める会員外特別参加料を入した者に限る。
- この大会期間中に日本代表として大会や海外派遣等で参加できない者は国スポ予選免除に関する要項により出場できる。
- 日本代表選手とは全日本スキー連盟が指定した選手であり、全日本スキー連盟競技本部長名で送付した「海外遠征等に派遣する選手名簿並びに派遣要項」による。この場合は予選を免除する。 但し、派遣期間前後3日間までを対象とする。 また、事前に県連競技本部長の承認を必要とする。
- 中学生(3年生)は全種目共、各部の推薦により少年の部に参加することができる。
- 国スポの監督及び選手の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は下記のとおりとする。(以下、国スポ大会諸規定より抜粋)
- (2)参加資格
- ア 日本国籍を有する者であることとするが、監督及び選手のうち、次の者については日本国籍を有しない者であっても、大会に参加すること
- (ア)出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、永住者。(日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国に関する特例法に定める特別永住者を含む)
- (イ)少年種別年齢域に該当し、学校教育法第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒。ただし、
- a 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、就学生及び家族滞在(中学3年生)については、国スポ大会実施要綱が定める締切時に1年以上在籍していること。(スキーにいがた発刊時点で締切未確定のため、該当者は要確認。)
- b 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、「留学」又は「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。
- (ウ)成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者。
- a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していたものであること。
- b 出入国管理及び難民認定法に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。
- [注]上記(ウ)bについて、大学・専門学校等に在籍する成年種別年齢域該当者は「出国管理及び難民認定法に定める「留学」以外のものを有する場合も「留学」と同等に扱う。
- イ 選手及び監督は、所属都道府県のスキー連盟会長及びスポーツ協会会長が代表として認め選抜した者であること。
- ウ 第79回大会(都道府県大会等を含む。))において、選手及び監督の資格で参加した者は、次の場合を除き、第79回大会と異なる都道府県に参加することはできない。
- (ア)成年種別
- a 令和6年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者。
- b 結婚又は離婚に係る者。(注:当該要件発生後、初めて参加する者に限る)
- c ふるさと選手制度を活用する者(別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。)
- (イ)少年種別
- a 令和6年度に学校教育法第1条に規定する学校を卒業した者。
- b 結婚又は離婚に係る者。
- c 一家転住等に係る者(別記2「一家転住等に伴う特別措置」による。)
- エ 選手及び監督の兼任は、同一種別内に限る。
- オ 前記のほか、選手・監督については次のとおりとする。
- (ア)選手・監督は、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り、参加できる。
- (イ)選手・監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。
- (ウ)選手・監督並びに本部帯同役員のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加の一年以内に公益財団法人日本スポーツ指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。
- (エ)選手は健康診断を受け、競技会参加が支障がない者であること。
- (オ)選手は都道府県大会等に参加し、これを通過した者であること。
- (カ)選手はドーピング・コントロール検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。
- (キ)監督については公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく公認スキー・スノーボードコーチ1・2・3・4、公認スキー教師、公認スキー上級教師のいずれかの資格を有する者であること。
- (3)所属都道府県
- 所属都道府県は、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。
- ア 成年種別
- (ア)居住地を示す現住所
- (イ)勤務地
- (ウ)ふるさと(別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。)
- イ 少年種別
- (ア)居住地を示す現住所
- (イ)学校教育法第1条に規定する学校の所在地(以下「学校所在地という。)
- (ウ)勤務地
- ※ 上記に属する都道府県のうち、「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、令和7年4月30日以前から大会参加時まで引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務又は通学していなければならない。
- ただし、次の者はこの限りではない。
- ・成年種別・少年種別において「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」、「東日本大震災に係る選手・監督の国民スポーツ参加資格の特例措置」「能登半島地震に係る選手・監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の、いずれかの適用を受ける者。
 - ・少年種別の選手で別記2「一家転住等に伴う特別措置」の適用を受ける者。

(4)選手の年齢基準

男 子	成年A	成年B	成年C	少年
	18歳以上26歳未満	26歳以上34歳未満	34歳以上	中学3年生以上18歳未満
	H11.4.2～H19.4.1まで	H3.4.2～H11.4.1まで	～H3.4.1	H19.4.2～H23.4.1まで
ジャンプ(男子) コンバインド(男子)	18歳以上27歳未満	27歳以上		中学3年生以上18歳未満
	H10.4.2～H19.4.1まで	～H10.4.1		H19.4.2～H23.4.1まで
女 子	成年A	成年B		少年
	18歳以上24歳未満	24歳以上		中学3年生以上18歳未満
	H13.4.2～H19.4.1まで	～H13.4.1		H19.4.2～H23.4.1まで

別記1【国民スポーツ体育大会ふるさと選手制度】

1 成年種別に出場する選手は、開催基準要綱細則第3項〔本則第8項第1号及び第10項第4号(参加資格及び年齢基準等)〕に基づき、

- 下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
- (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。
- 3 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。
なお、一度登録した「ふるさと」は、変更できないものとする。
- 4 「ふるさと」から参加する選手は、開催基準要綱細則第3項－(1)－1)－③(国内移動選手の制限)に抵触しないものとする。
- 5 「ふるさと選手制度」の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 6 参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要綱で定めた参加申込み締切り期日までに、(公財)日本スポーツ協会宛に提出する。
- 別記2【「一家転住等」に伴う特例措置】
〔転校への特例〕
- 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限(開催基準要綱細則第3項－(1)－1)－③に抵触しないものとする。
- (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由にかぎることとする。
 - (3) 「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - 1) 親の転勤による一家の転居
 - 2) 親の結婚、離婚による一家の転居
 - 3) 上記以外に、やむを得ない理由による、家の転居
 - (4) 転居先の都道府県予選会締切日以前に、次の手続きを終了していること。
 - 1) 別に定める様式により、属していた都道府県体育協会会長及び都道府県スキー連盟会長の承認を得ること。
 - 2) 承認を得た書類については、転居先が属する都道府県体育協会及び都道府県スキー連盟へ提出すること。
10. 競技規則 (公財)全日本スキー連盟競技規則最新版に準ずる。
- (1) ジャイアントスラロームに出場する者は、クラッシュヘルメットを着用すること。着用しない場合は出発させない。
 - (2) 男子クラシカル5K、10Kの2種目出場者の5Kの成績は、10Kの途中計時をもって成績とする。
男子フリー15K、30K、50Kの3種目出場者の15K及び30Kの成績は、50Kの途中計時をもって成績とする。
女子フリー10K、30Kの2種目出場者の10Kの成績は、30Kの途中計時をもって成績とする。
 - (3) 全日本選手権大会クロスカントリー種目及びジャンプ・ノルディックコンバインド競技の予選の方法については、TCMで連絡する。
11. 参加料
成年は一人4,500円、少年は一人3,500円とする。リレーの参加料は1チーム3,000円とする。
国体予選のみ会員外特別参加料は6,500円とする。
参加料は申し込みと同時に大会事務局へ納入のこと。
アルペン種目のスラロームは、SAJ-B級公認ポイントレースとして開催する為、参加する選手は、別紙B級大会要項を参照し別途申し込みが必要です。
12. 表彰 各種目、各組とも6位まで表彰する。ただし、男子50K競技と女子30Kは10位まで表彰する。
中学生はすべて少年組として表彰する。
13. 参加申込
- (1) 参加申込みについては、下記のとおりとする。
 - (ア) 期 日 ・スペシャルジャンプ・コンバインドジャンプ 令和7年9月26日(金)17時必着
・アルペン 令和7年12月26日(金)正午必着
・クロスカントリー 令和7年12月8日(月)～令和6年12月26日(金)正午必着
 - (イ) 場 所 ・スペシャルジャンプ・コンバインドジャンプ 〒949-2112 新潟県妙高市関川2428-2池の平スポーツ広場内
(公財)新潟県スキー連盟上越協議会(Tel0255-86-3977:Fax0255-86-5501)
・アルペン 〒949-2112 新潟県妙高市関川2428-2池の平スポーツ広場内
(公財)新潟県スキー連盟上越協議会(Tel0255-86-3977:Fax0255-86-5501)
・クロスカントリー mail:ski.muikamachi@yahoo.co.jp 原則、メール受付のみとする
但し、メールによるデータ送信ができない場合などは下記の事務局へ問い合わせてください。
新潟県スキー選手権大会事務局:(担当)山田 090-4721-4250
※ リレーの申込は県高校大会の十日町会場に申し込むこと。
 - (ウ) 申込方法・様式
・アルペン種目(様式1)、ジャンプ・コンバインド種目(様式3・4)を使用する。
生年月日を明記し、年齢算定を正確にするほか、用紙は「スキーにいがた」添付してあるものを使用すること。(用紙サイズ厳守)
・クロスカントリー種目はエントリーシートを新潟県スキー連盟のホームページからダウンロードし、メールにて申し込むこと。
クロスカントリー参加料振込先:大光銀行六日町支店 普通 016048 六日町スキークラブ 会長 白井健治
 - (エ) スポーツ傷害保険に加入
SAJスキー補償制度又はスポーツ安全保険等必ず損害賠償・傷害が補完された保険に加入し、そのコピーを必ず添付すること。
 - (2) 全日本スキー選手権大会出場希望者は、各種目毎に、申込書に希望の有無を記入すること。
予選通過者は、成績発表後ただちに参加料を添えて県スキー連盟各部担当者に申し込むこと。
全日本出場者の年齢算定の基準は2025年12月31日現在とする。
ただし、アルペン種目にあつては、ポイントによる全日本出場資格が無い場合、アルペン部の推薦による。
14. 抽選
- | | |
|-----------|--|
| ・ジャンプ | 2025(令和7年)年10月10日(金) 午後6時より、大会事務局で行う。 |
| ・アルペン | 2026年1月4日(日) 午後1時より、大会事務局において行う。 |
| ・クロスカントリー | 2026(令和8年)年1月4日(日) 午後1時より、南魚沼市欠之上クロカンハウスで行う。 |
- (1) クロスカントリーの抽選は各種目ともSAJポイントによりグループ分けを行う。グループ数は参加人数により決める。
県連強化選手には特別シードを採用することがある。

(2)アルペン種目の抽選は、少年・成年Aについては、SAJポイント保有者を第1ランク、ポイント無しを第2ランク、未登録者を第3ランクとして行う。成年B・C組は前年度6位以内を第1グループとする。県連強化選手には特別シードを採用することがある。

15. 注意事項

(1) (公財)スポーツ安全協会のスポーツ安全保険または一般のスポーツ傷害保険に加入すること。

(2)国スポの種別(部)種目及び参加人数

補欠は認めない。ただし、リレーのエントリーは男子6名(走者4名)、女子6名(走者4名)とし、各種別(部)でノルディック種目にエントリーした選手のみで構成する。

	成年男子			少年男子	成年女子		少年女子
	A	B	C		A	B	
ジャイアントスラローム	3	3	3	6	3	2	4
スペシャルジャンプ	3	3		6			
コンバインド	3	3		6			
クロスカントリー10K	3	3		6			
クロスカントリー5K			3		3	2	4
リレー	6名(4名×10kmF)				6名(4名×5kmF)		

16. 備考

(1)第80回国民スポーツ大会冬季スキー競技会出場選手は競技終了後の選考委員会において決定する。

(2)選考委員会

期 日 2026年1月21日(水) 14時

場 所 南魚沼市民会館

※ 県連三役、常務理事及びクロスカントリー部、ジャンプ部、アルペン部各代表2名は出席すること。

予選の結果各組上位入賞者より定数の半分は無条件(3名枠は優勝者)とし、残数は高校予選等も参考にして決める。

従って、各部長の責任において選考資料を作成し、競技翌朝提出のこと。ただし、レベルの低い選手層があった場合は定数減もあり得る。

(3)大会事務局

- ・ジャンプ 〒949-2112 新潟県妙高市関川2428-2池の平スポーツ広場内
(公財)新潟県スキー連盟上越協議会(Tel0255-86-3977:Fax0255-86-5501)
- ・アルペン 〒949-2112 新潟県妙高市関川2428-2池の平スポーツ広場内
(公財)新潟県スキー連盟上越協議会(Tel0255-86-3977:Fax0255-86-5501)
- ・クロスカントリー 〒949-6602 新潟県南魚沼市欠ノ上505-2 欠ノ上クロカンハウス内(Tel025-773-6108)
新潟県スキー選手権大会事務局
問合せ先 担当 山田大輔 (090-4721-4250)

17. 宿泊について

(1) ジャンプ・コンバインド種目に出場する選手の宿泊については各自手配とする。宿泊料金は各自宿舎へご確認下さい。

(2) アルペン種目に出場する選手の宿泊については各自手配とする。宿泊料金は各自宿舎へご確認ください。

(3) クロスカントリー 希望者は六日町観光協会にお問い合わせください。

・〒949-6680 新潟県南魚沼市六日町139 Tel025-788-1703 Fax025-788-1704

※宿泊料金は高体連料金に準じます。詳細は問い合わせ時に協議ください。(参考 1泊3食 8,910円 税込)